

# 令和2年度 長崎県立清峰高等学校学校関係者評価 報告

## 1 評価の実施時期・場所等

令和3年3月4日（木） 本校校長室にて

## 2 学校関係者評価委員

森山 政幸

井上 龍二

森田久美子

中村 尚広

## 3 学校関係者評価の内容

○学校の取り組みに対して、教職員、保護者、生徒とも高い評価を得ていることは素晴らしい。

○しかし、生徒アンケートでは、授業や相談関係に一定数不満を感じている生徒がいる。授業に関しては、各学年1クラス分は「授業が分からない」と答えている生徒がいる。この問題は多様な生徒がいる中で、全てを満足させることは極めて難しいことだが、学校が取り組むべき最大の問題でもあることも事実。工夫をして解決してほしい。

○私立高校無償化、県北地域の人口減少、高校入試制度の変更など外的な要因から 厳しい時代になるのは仕方がない。

○アンテナを張って情報を集め、広い視野で物事を捉え、これまでを踏襲するのではなく、新たな学校の在り方を考えていただきたい。来年1年間の動きがこれからを左右すると考えている。

○コロナからの立ち直りがとても大変かと思うが、その立ち直りのためにすべきことを明確にして、指導し直すべき事があれば躊躇せずに行ってほしい。

○携帯電話の持ち込みに関して問題の発生を心配していた。今後は一人一台パソコンが配られ、フィルタリングの問題やブルーライトカットのめがね、近視増加、家庭での使用に関してのポケット Wi-Fi（佐々町では必要とする世帯には貸し出す）の問題など、解決していかなければならない問題が多いが適切に対応して行ってほしい。

○教職員、保護者、生徒はもとより、地域の方々など皆さんの力を結集して、よりよい学校づくりに努めていくことを期待しています。